



大槻 ゆり子 議員

結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援について

問

結婚支援は行政や各種団体、市民、教育界も巻き込んだ取り組みを入れるべきである。

答

「ふるさと納税」等も活用して各部署が複合的に絡み合わせることが大事だと考えます。

います。

問

全国の成功事例は行政や各団体、市民、教育界も巻き込んだ取り組みだ。高島市も取り入れるべきと思うが。

答

子ども未来部長

本市は、民間の優れたノウハウを活用し、より地域に根差した活動となるようNPO法人に委託して、相談窓口を設置し結婚に結びつくまでのアドバイス等を行っています。他市の事例等を参考にしながら、各種団体や事業所と連携し地域全体で結婚を応援する体制を構築していきます。

問

まちをあげてお祝いするような機運の醸成が大事だと思うが。

答

政策部長

結婚について市あげて取り組む必要があると考えています。事業を円滑に進めるため、ふるさと納税等においても市のPRに努め、財源も確保していきます。



問

「子育てアプリ」の導入は。

答

子ども未来部長

スマートフォンアプリを活用し、子育て中のご家庭が手軽に情報を取得できる環境を整えるとともに、予防接種のスケジュールや健診の予定など新しい情報を自動的にお知らせする機能を持たせるなど、使い勝手がよいシステムを構築したいと考えています。



その他の質問

○健康増進・フレイル予防の取り組みについて

問 政策部長 結婚支援については、子ども未来部が高島結びと育ちの応援団の活動を通じて、結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援を推進しています。政策部は、総合戦略全体のマネジメントを担う中で、ふるさと納税を活用して本市の子育て支援策を全国にPRをして

高島市あげて「結婚を望む市民の願い」を叶えられる、「人に優しい」高島市を目指したい。

問 政策部、子ども未来部で取り組む結婚支援の成果と課題とその連携は。

答 政策部長

本市は、民間の優れたノウハウを活用し、より地域に根差した活動となるようNPO法人に委託して、相談窓口を設置し結婚に結びつくまでのアドバイス等を行っています。他市の事例等を参考にしながら、各種団体や事業所と連携し地域全体で結婚を応援する体制を構築していきます。